

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	田辺市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	熊野古道（中辺路）を中心とした「紀伊山地の霊場と参詣道」活性化事業計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要	<p>当計画では田辺市において本年度策定中の「世界遺産等を活かした魅力あるまちづくり基本計画」、あわせて「世界文化遺産 紀伊山地の霊場と参詣道 包括保存管理計画」等を踏まえながら「紀伊山地の霊場と参詣道」、ならびに熊野古道中辺路と大辺路の分岐点である田辺市が抱える基本的な課題を解消していくことを目指し、以下2項目の事業を実施する。</p> <p>1項目目は田辺市域はもとより、世界文化遺産「紀伊山の霊場と参詣道」全体の情報発信に関わる事業である。三県にまたがる同遺産の神髄は、「神道・仏教・修験道の聖地が共存しそれらが古道によって結ばれ、現在に生きている」という点にある。しかし、現状では県、市町村、交通・観光事業者などがそれぞれバラバラに各構成資産につき情報発信に取り組みまれており、その内容も（遺産全体の神髄やそれが象徴する日本人の精神文化的内容というよりは）個別的また観光情報的なものにとどまっているものとする。</p> <p>こうした状態を続けるだけでは、上記の「神髄」部分や現地が持つ本来の奥深さを内外に伝え、「紀伊山地の霊場と参詣道」全体へのパイを今以上に拡大していくことは難しい。</p> <p>昨年、追加登録された各遺産を含めた情報ツールの再構築が求められている中、上述のような状況を解消し、東京オリンピック・パラリンピックを契機に必然的に高まる「日本」への知的関心に対応すべく、多言語での「公式ガイドブック」、「古道別MAP（中辺路・熊野三山、小辺路・高野山、吉野、大辺路、伊勢路）」、「パンフレット」、「写真集」を段階的に整備するとともに、東京・海外でのセミナーを展開する。また、これらのエッセンスをHPにて情報発信する。情報発信の第一のターゲットは欧米の知識階層であり、「紀伊山地の霊場と参詣道」の存在を通して、宗教的対立が激化する国際社会に対し「神仏共存」に代表されるわが国の文化的価値観を発信するとともに、すでに熊野古道などに訪れている欧米訪問客数の増大、また世界遺産全体での長期滞在化を目指す。</p> <p>2項目目は基本的な受け入れ整備に関する事業である。</p> <p>田辺市ではこれまで熊野古道（中辺路）における外国語表記の案内板を整備してきた。</p> <p>しかし、世界遺産に登録されている他の古道でも田辺市以外の場所においては、外国語表記を含む案内板の不足が指摘されている。</p> <p>こうした不足箇所を調査するとともに、必要とされる案内板設置を、関係地域に呼びかけ、統一デザインの下で推進していく。</p>		
6 実施体制	<p>本実施計画の各補助事業に係る指導等は田辺市観光振興課がおこなう。</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>「世界文化遺産」地域連携会議・紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム （田辺市、観光・交通事業者などから構成）</p>		
7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 0千円	平成29年度申請額： 10,720千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）	<p>①世界遺産追加登録箇所を含めた情報整備と外国人観光客受け入れの円滑化を図る。</p> <p>②東京オリ・パラという絶好の機会をとらえ、「紀伊山地の霊場と参詣道」全体のレベルが高い文化的情報を、多言語でかつ分かりやすく発信することにより、神仏習合に象徴される「日本人の精神性」を世界に伝えることが可能になる。また、情報発信のメインターゲットは欧米諸国とする。</p> <p>③田辺市の外国人宿泊客数を5年後に1・3倍にすることを旨とする。</p>		

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）

事業概要：熊野古道（中辺路）における外国語表記の案内板等の整備（田辺市・和歌山県）

事業概要：和歌山県・三重県・奈良県の連携によるMAP作成・観光PR事業など（三県協議会・吉野高野熊野王国）

事業概要：

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

現時点で「歴史文化基本構想」策定に向けた計画の見込みはないが、将来、策定・認定に向け取り組んでいきたい。

12 担当部局

地方公共団体  
担当部局課 田辺市観光振興課

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	田辺市(田辺、中辺路、大塔、本宮地域)の外国人宿泊客数			関連事業:	①、②、③、④、⑥	
目標値 1 :	平成 28 年度		100 %	⇒	平成 33 年度 130 %	
設定根拠 1 :	国の外国人観光客増加目標に現地の宿泊キャパシティの現状を加味し、平成28年度の1.3倍を目標とする。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 2 :	その他					
評価指標区分 2 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	熊野古道における外国語表記の案内板(不足分)の設置件数			関連事業:	⑤	
目標値 2 :	平成 28 年度		0 基	⇒	平成 33 年度 100 基	
設定根拠 2 :	田辺市域では世界遺産登録箇所の案内板設置は概ね完了しているが、追加登録箇所周辺及び田辺市域外の熊野古道における案内板の必要箇所を調査し、整備する。(調査結果を100基とした指標)					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
基	基	基	基	基	基	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	外国語（欧米言語）による公式ガイドブックの整備	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	<p>・外国語による公式「紀伊山地の霊場と参詣道」ガイドブックを以下のような形で段階的に整備する。</p> <p>平成 29 年度：①「中辺路・熊野三山」公式ガイドブック（英語）</p> <p>平成 30 年度：上記に②「小辺路・高野山」を加筆（英語）。</p> <p>平成 31 年度：上記に③「大辺路」「吉野」を加筆（英語）。</p> <p>平成 32 年度：上記に④「伊勢路」を加筆（英語）で「①～④」「紀伊山地の霊場と参詣道」公式ガイドブック完成（英語）。</p> <p>平成 33 年度：公式ガイドブック完成英語版を翻訳し「公式ガイドブック（スペイン語）（仏語）（独語）」を制作する。</p> <p>（※ただし印刷費用地元負担の有無により平成 30 年以降の取り扱い地域が変化する可能性がある）</p>				
評価指標区分：	・文化遺産周辺における外国人宿泊者数		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数				
目標値：	平成 28 年度	100 %	⇒	平成 33 年度	130 %
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
%	%	%	%	%	%
評価指標区分：	・パンフレット等の作成		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	補助事業終了後のパンフレット等のコンテンツ増刷数（自主事業分）				
目標値：	平成 28 年度	0 冊	⇒	平成 33 年度	800 冊
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
冊	冊	冊	冊	冊	冊

事業②：	外国語（欧米言語）による古道別MAPの整備	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>・公式ガイドブック整備と併せ、英語による古道別MAPを以下のような形で段階的に整備する。</p> <p>平成29年度：「中辺路・熊野三山MAP」</p> <p>平成30年度：「小辺路・高野山MAP」</p> <p>平成31年度：「大辺路・吉野MAP」</p> <p>平成32年度：「伊勢路MAP」</p> <p>平成33年度：上記を翻訳し「MAP（スペイン語）（仏語）（独語）」を制作する。</p> <p>（※ただし印刷費用地元負担の有無により平成30年以降の取り扱い地域が変化する可能性がある）</p>					
評価指標区分：	・文化遺産周辺における外国人宿泊者数			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数					
目標値：	平成 28 年度	100 %	⇒	平成 33 年度	130 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
評価指標区分：	・パンフレット等の作成			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	補助事業終了後のパンフレット等のコンテンツ増刷数（自主事業分）					
目標値：	平成 28 年度	0 部	⇒	平成 33 年度	800 部	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
部	部	部	部	部	部	

事業③：	外国語によるパンフレットの整備	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度			
事業概要：	平成29年度：英・仏・スペイン 3か国語併記のパンフレット（外部での宣伝用）を作成 平成30年度：英・独・蘭 3か国語併記のパンフレット（同）を作成 平成31年度：韓・中簡体・中繁体 3か国語併記のパンフレット（同）を作成					
評価指標区分：	・文化遺産周辺における外国人宿泊者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	田辺市（田辺、中辺路、大塔、本宮地域）の外国人宿泊客数					
目標値：	平成 28 年度	100 %	⇒	平成 33 年度	130 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
評価指標区分：	・パンフレット等の作成			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	補助事業終了後のパンフレット等のコンテンツ増刷数（自主事業分）					
目標値：	平成 28 年度	0 部	⇒	平成 33 年度	800 部	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
部	部	部	部	部	部	
事業④：	多言語HPの制作	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	・①、②、③、⑥内容のエッセンスを多言語HPにて公開する					
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数（PV数）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	ホームページにおける閲覧数（PV数）					
目標値：	平成 28 年度	0 PV	⇒	平成 33 年度	500,000 PV	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
PV	PV	PV	PV	PV	PV	

事業⑤：	熊野古道における外国語表記案内板（不足分）の整備	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度：田辺市域の追加登録遺産関係地への外国語表記案内板の設置（田辺地域内の熊野古道（中辺路）については追加登録地も含め概ね整備済）</li> <li>平成30年度に「中辺路（田辺市域外）」「小辺路」「大辺路」「伊勢路」における不足箇所の調査実施</li> <li>調査結果に基づき平成31年度より順次整備をおこない、平成33年度に完成</li> </ul>					
評価指標区分：	・その他（外国人が理解できる表示）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	外国語表記の案内板（不足分）の設置件数					
目標値：	平成 28 年度	0 基	⇒	平成 33 年度	100 基	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
基	基	基	基	基	基	
事業⑥：	国内外におけるセミナー開催	実施団体：	「世界文化遺産」地域連携協議会 紀伊山地の霊場と参詣道プロジェクトチーム			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	<p>平成29年 東京における「三霊場フォーラム」開催  平成30年 スペインにおける「紀伊山地の霊場と参詣道」フォーラム開催  ※熊野古道とサンティアゴ・デ・コンポステーラ「巡礼道」=いずれも世界文化遺産に登録されている。  平成31年度以降は未定（東京などでの開催、欧米のJNTO日本事務所所在地=ロンドン・パリ・NY・ロスなどでの開催可能性を検討）※歴史街道推進協議会は上記全都市で十数回の開催経験あり</p>					
評価指標区分：	・その他（熊野の理解度を深める）			（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	セミナー開催による文化遺産への理解度（アンケート実施）					
目標値：	平成 28 年度	30 %	⇒	平成 33 年度	80 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	